

Fukushima with a SMILE!

つながる東北



ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま
久慈設計は「Fukushima with a SMILE!」を通じて
福島県の魅力を発信していきます。

Dec.2024 Vol.72

特集 福島県 南会津地域

福島県南会津地域は、県の南西部に位置しており、下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町の3町1村で構成されています。面積は約23万ha（神奈川県とほぼ同じ大きさ）ですが、その93%は森林が占めており、豊かな自然資源と気候風土が相まって、独自の文化が生まれています。

今回は、今年8月末に福島県内初の酒類の地理的表示(GI)に指定された「南会津清酒」から2酒造と、南会津地域の観光情報を紹介します。



会津酒造 株式会社

福島県南会津郡南会津町永田字穴沢603番地
<https://www.kinmon.aizu.or.jp/>

「蔵元紹介」

創業は元禄元(1688年)年で、江戸時代からの仕込み蔵にて今でも酒造りをしています。「南会津の酒米」、「南会津の水」にこだわり風土を活かしながら、約330年の伝統を守りつつ、最新の技術を取り入れながら酒造りを行っています。水は、地下40mからくみ上げた全国でも屈指の超軟水を使用しており、やわらかく丸いきれいな酒が特徴です。主要銘柄には、「会津」「田島」「山の井」があります。GI認定酒には、「純米酒 会津」、「山の井60」が認定されました。



開当男山酒造

福島県南会津郡南会津町中荒井字久宝居785
<https://otokoyama.jp/>

「蔵元紹介」

創業は享保元(1716)年。創始者の当家3代目渡部開当(はるまさ)がそのまま銘柄となっており、以来14代、300年以上にわたり寒冷地を生かした独自の酒造りに取り組んでいます。現在は、蔵人すべてが地元の者になり、昼夜を通してよりいっそう丁寧な造りに励んでいます。「酒は名脇役」の考えのもと、食事を引き立たせるような穏やかな酒を目指し造っています。主要銘柄には、「開当男山」「久宝居」「夢の香」「南山」があります。GI認定酒には、「開当男山 特別純米酒 夢の香」、「南山 純米吟醸」が認定されました。



五感で感じる、自然と文化 南会津



冬のイベント、スポットをご紹介します



古き良き宿場町が雪に覆われ、雪燈籠の炎が揺らめく。

下郷町

大内宿雪まつり



大内宿は、江戸時代に会津と日光を結ぶ重要な道の宿場町として栄え、現在も面影そのままに茅葺屋根の民家が街道沿いに建ち並んでいます。大内宿雪まつりは、真っ白な深い雪に覆われる2月の第2土曜・日曜に毎年行われます。

街道沿いには手作りの雪燈籠がいくつも置かれ、夜にはひとつひとつに明かりが灯されます。また、冬の澄み渡った大空には花火が打ち上がり、雪燈籠の炎で幻想的な雰囲気にもまれた町並みを華やかに彩ります。その情景は、一度見たら忘れられないものになるでしょう。

[関連サイト]

<https://ouchi-juku.com/>

只見町

只見
ふるさとの雪まつり

福島県内有数の豪雪地帯である只見町の冬の一大イベントで、毎年2月の第2週の土・日曜日に、JR只見駅前で開催されます。伝統芸能発表や食文化が楽しめるコーナー、豪華ゲストなどによる盛りだくさんの企画が来場者を楽しませてくれます。夜には圧巻の大雪像プロジェクトマッピングを行い、雪まつりを幻想的な世界へと変えます。また、様々な願いが込められた祈願花火が打ち上げられ真冬の夜を彩ります。毎年2万人を超える来場者を魅了する只見町の真冬の一大イベントになります。

[関連サイト]

<https://tadamisnowfies.com/>

町民総参加で「よく来てけやったな」の温かい言葉と「寄っていんぎゃれ」のおもてなしの心で迎え入れます。

檜枝岐村

燧の湯(ひうちのゆ)

福島県南会津郡檜枝岐村上ノ台208-1



尾瀬に蓄えられた豊かな水量の恩恵から、檜枝岐村ではすべての旅館と民宿で温泉に入浴できます。

[関連サイト] <http://www.oze-info.jp/>

檜枝岐村

駒の湯(こまのゆ)

福島県南会津郡檜枝岐村下ノ原839-1



問い合わせ先

\ Webサイト「五感で感じる、自然と文化 南会津」で観光情報やグルメ、イベント情報発信中 /

福島県南会津地方振興局地域づくり・商工労政課 TEL:0241-62-5207

